



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 新日本理化学株式会社

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長兼経理部長

(氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,939	0.2	350	△24.6	467	△14.7	403	△43.3
23年3月期第3四半期	21,894	15.5	464	—	547	—	711	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 92百万円 (△78.2%) 23年3月期第3四半期 422百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	10.83	—
23年3月期第3四半期	19.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第3四半期	32,282	12,122	35.5	307.00
23年3月期	32,189	12,040	35.5	306.03

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,448百万円 23年3月期 11,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	29,100	△0.8	640	47.0	840	48.5	770	11.9	20.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	38,008,906 株	23年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	717,284 株	23年3月期	716,264 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	37,292,442 株	23年3月期3Q	37,293,032 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により甚大な影響を受けた生産や消費に緩やかな持ち直しの動きが見られましたものの、円高や欧州債務問題を契機とする世界経済の失速など、厳しい状況のなかで推移いたしました。

化学業界におきましても、タイの大洪水により自動車・電機関連などの主要分野で生産が一時停止したほか、新興国の急速な追い上げによる国際競争の激化、円高を背景とした輸入品との競合など、極めて厳しい環境のもとに推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、製品販売価格および原料仕入価格の適正化に努めるとともに、製造工程の合理化によるコスト低減、高付加価値製品の販売活動を強化するなど全力を挙げて利益確保を進めてまいりました。

しかしながら、国内需要の低迷から販売数量が低水準で推移したほか、円高の長期化により採算面で大きく影響を受け、利益の確保を図るには厳しい状況が続きました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は219億3千9百万円(前年同四半期比0.2%増)となり、営業利益3億5千万円(前年同四半期比24.6%減)、経常利益4億6千7百万円(前年同四半期比14.7%減)、四半期純利益4億3百万円(前年同四半期比43.3%減)と不本意な結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 油脂製品セグメント

脂肪酸・グリセリン等の油脂製品部門では、金属石鹼・安定剤向けの脂肪酸が依然として低迷を続けたため、販売数量は減少いたしました。

アルコール製品部門では、堅調を維持しておりました国内繊維油剤向けが落ち込んだほか、界面活性剤はトイレタリー向けで需要が低迷したため、販売数量は減少いたしました。

しかし、期中に製品価格の改定を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は85億9百万円(前年同四半期比9.4%増)となりました。

## 石化製品セグメント

化成品部門では、主力の可塑剤は、震災による需要の低下に持ち直しの傾向が見られますが、円高の影響で輸入品の流入が継続していることから、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

機能製品部門では、酸無水物は自動車関連向けが好調に推移いたしましたものの、電機関連の需要が減少していることから、販売数量は伸び悩みました。また、輸出では欧州および中国の需要が停滞したほか、タイの洪水による影響もあり販売数量は前年を下回りましたが、製品価格の是正を行いましたことから、売上高は総じて増加いたしました。

樹脂添加剤におきましては、国内需要は堅調でありましたものの、長引く円高の影響により輸出が低調でありましたため、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

以上の結果、石化製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は115億8千9百万円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

#### その他セグメント

その他セグメントにおきましては、自動車関連がタイの洪水により生産調整を余儀なくされましたことから、防錆剤、水溶性切削油等の販売数量は前年を下回りましたが、その他、商社部門が順調に推移いたしましたため、売上高は増加いたしました。

以上の結果、その他セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は18億4千万円(前年同四半期比10.5%増)となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前年度末比+0.3%、金額で9千2百万円増加の322億8千2百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金の増加などにより前年度末比+3.0%、金額で5億円増加の169億6千9百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の減価償却などにより前年度末比△2.6%、金額で4億7百万円減少の153億1千3百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が減少したものの、短期借入金が増加したことなどにより前年度末比+16.1%、金額で16億3千6百万円増加の117億7千1百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の減少などにより前年度末比△16.2%、金額で16億2千5百万円減少の83億8千8百万円となりました。

純資産につきましては、その他包括利益累計額が減少したものの、四半期純利益を計上したことなどにより前年度末比+0.7%、金額で8千1百万円増加の121億2千2百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は35.5%となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に関する事項につきましては、本日平成24年2月9日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法は主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループにおいては、前連結会計年度に堺工場で酸無水物の大型製造設備が稼働いたしました。また、中期経営計画に基づき、今後大規模な設備投資を計画しております。これらの設備から生産される製品については、今後安定的な受注のもと、概ね一定の販売数量であることが見込まれており、また、主要な設備について急激な技術的・経済的な陳腐化がほとんどなく、生産設備は耐用年数にわたって安定的に利用されるものと見込まれております。従って、生産設備全般につき耐用年数にわたり均等に費用配分を行うことが、生産設備投資の実態をより適切に反映できるものと判断し、従来の償却方法を見直し、定額法を採用することにいたしました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が310百万円減少し、営業利益が270百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ276百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,910	1,492
受取手形及び売掛金	10,059	11,024
商品及び製品	1,842	2,173
仕掛品	1,402	1,089
原材料及び貯蔵品	1,066	1,052
その他	190	139
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	16,468	16,969
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,526	3,464
その他(純額)	5,440	5,381
有形固定資産合計	8,967	8,846
無形固定資産	177	150
投資その他の資産		
投資有価証券	6,128	5,921
その他	452	399
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,576	6,317
固定資産合計	15,721	15,313
資産合計	32,189	32,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	5,570	5,310
短期借入金	1,465	3,183
1年内返済予定の長期借入金	1,624	1,662
1年内償還予定の社債	37	37
未払法人税等	86	46
賞与引当金	243	87
その他	1,106	1,445
流動負債合計	10,135	11,771
<b>固定負債</b>		
社債	390	366
長期借入金	5,693	4,465
退職給付引当金	1,985	1,966
役員退職慰労引当金	40	44
負ののれん	462	373
その他	1,441	1,171
固定負債合計	10,013	8,388
<b>負債合計</b>	20,149	20,160
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	1,976	2,380
自己株式	△168	△169
株主資本合計	11,715	12,118
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	567	348
繰延ヘッジ損益	△19	△4
為替換算調整勘定	△851	△1,013
その他の包括利益累計額合計	△302	△670
少数株主持分	628	673
<b>純資産合計</b>	12,040	12,122
<b>負債純資産合計</b>	32,189	32,282



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	21,894	21,939
売上原価	18,261	18,400
売上総利益	3,632	3,539
販売費及び一般管理費	3,167	3,188
営業利益	464	350
営業外収益		
受取配当金	89	102
負ののれん償却額	89	89
持分法による投資利益	80	99
その他	37	29
営業外収益合計	296	319
営業外費用		
支払利息	145	123
その他	67	78
営業外費用合計	213	202
経常利益	547	467
特別利益		
固定資産売却益	0	65
投資有価証券売却益	—	5
関係会社株式売却益	502	—
その他	3	—
特別利益合計	506	71
特別損失		
固定資産売却損	—	26
固定資産除却損	43	50
投資有価証券評価損	40	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
その他	0	—
特別損失合計	99	77
税金等調整前四半期純利益	954	461
法人税、住民税及び事業税	210	74
法人税等調整額	2	△72
法人税等合計	213	1
少数株主損益調整前四半期純利益	740	459
少数株主利益	28	55
四半期純利益	711	403

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	740	459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△356	△219
繰延ヘッジ損益	△9	14
為替換算調整勘定	△1	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	48	△155
その他の包括利益合計	△318	△367
四半期包括利益	422	92
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393	36
少数株主に係る四半期包括利益	28	55

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,778	12,450	20,228	1,665	21,894	—	21,894
セグメント間の内部 売上高又は振替高	264	702	967	195	1,162	△1,162	—
計	8,042	13,153	21,195	1,860	23,056	△1,162	21,894
セグメント利益	80	353	433	33	466	△2	464

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学製品の仕入販売事業及び保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,509	11,589	20,099	1,840	21,939	—	21,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351	760	1,111	183	1,295	△1,295	—
計	8,860	12,350	21,211	2,023	23,235	△1,295	21,939
セグメント利益	189	138	328	21	349	0	350

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業及び保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報(その他)に関する事項」の「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法は主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「油脂製品」は53百万円、「石化製品」は215百万円、「その他」は1百万円それぞれ増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。